

安全ニュース

「転倒災害」を防止しましょう

特徴1

転倒災害は最も多い労働災害！

特徴2

高齢者に多く発生！

特徴3

休業1ヶ月以上が約6割！

《転倒災害の主な原因》似たような経験はありませんか？

滑る



原因

- ・床が滑りやすい素材である。
- ・ビニールや紙など、滑りやすい異物が床に落ちている。

つまづく



原因

- ・床に凹凸や段差がある。
- ・床に荷物や商品などが放置されている。

踏み外す



原因

- ・大きな荷物を抱えるなど、足元が見えない状態で作業している。

《転倒災害の防止対策ポイント》

転倒災害を防止することで安心して作業ができ、作業効率もあがります

4S (整理・整頓・清掃・清潔)

- ・歩行場所に物を置かない
- ・床面の凹凸、段差などを解消
- ・床面のよごれ(水、油、粉等)をこまめに掃除

転倒しにくい方法

- ・時間に余裕を持って行動
- ・足もとが見えにくい状態で作業しない
- ・転倒予防体操の推進
- ・転倒危険場所を各自チェック

見える化 (危険を可視化して共有)

- ・転倒危険場所に「見える化」ステッカーなどの注意喚起
- ・危険マップの作成による危険情報共有



〈出典：厚生労働省 STOP！転倒災害プロジェクトリーフレット〉

石川県最低賃金 時間額 781円(24円UP)

平成29年10月1日から

※特定【産業別】最低賃金は毎年12月末に変更される予定です。

〈出典：石川労働局ホームページ〉

公益社団法人 石川県シルバー人材センター連合会

安全ニュース

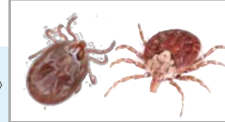
「マダニ」「ハチ」に注意しましょう

草刈り・草むしり・剪定作業の際には
「マダニ」「ハチ」に十分に注意してください！

マダニとは

日本に47種生息

〈写真提供:国立感染症研究所昆虫医科学部〉



幼ダニ、若ダニ、成ダニ
の各ステージで1回ずつ
生涯で3回吸血

春から秋(3~11月)に
かけて活動が活発
冬季も活動する種類が
ある

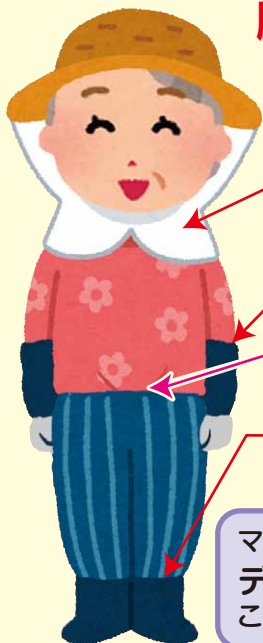
野生動物が出没する山林の他
民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道
などに生息



マダニが媒介する感染症(重
症熱性血小板減少症候群)の
ウイルス潜伏期間はマダニに
咬まれてから6日~2週間

マダニから身を守る服装

腕、足、首などの、
肌の露出を少なく！



首はタオルを巻くか
ハイネックのシャツを着用

シャツの袖口は
軍手や手袋の中に

シャツの裾はスポンの中に

スポンの裾は長靴の中に

マダニに対する虫よけ剤は、
ディート・イカリジンの2種類
これによりダニの付着数は減少

〈マダニ関係 出典：昆虫医科学部ホームページ〉

ハチから身を守る服装

厳重注意

事故報告では、7月6件、8月11件ハチ刺されが発生
スズメバチは7月から10月が最盛期
草刈り時期はハチに刺される最も危険な時期



服装等チェック

- ・黒色の着衣、黒い長靴、毛皮等に攻撃
- ・ヘアスプレー、ヘアトニック、香水等の化粧品に敏感
- ・顔面を保護するための防蜂網・防護手袋を着用
- ・刺されやすいのは腕や手、次に顔・頭部で、身体の露出部分がないように

ハチから身を守る
「携帯用ハチノック」をポケットにいれ、
万全の対策で作業しましょう。



〈ハチ関係 出典：厚生労働省ホームページ〉

「マダニ」「ハチ」に刺された場合は、直ちに医療機関で受診しましょう。

平成29年度
安全就業標語

優秀作『忘れずにわが身を守る ヘルメット』



公益社団法人石川県シルバー人材センター連合会

〒920-0862 金沢市芳斉1丁目15番15号

TEL: 076-222-4680 FAX: 076-222-4681